

◆体の動きを確認しよう

<p>1 対象児童生徒（対象学級）の実態 対象生徒 中学部男子2年1名3年2名、女子1年1名3年1名 (聴覚障害児(単一))3名(聴覚障害・知的障害の重複障害)2名</p>
<p>2 指導目標 ・視覚的な補助教具として iPad を活用し、運動技術を高めるとともに必要な専門用語について理解する。</p>
<p>3 取組の中心となる教科・領域等 ・保健体育科 (柔道、サッカー、マット運動、ダンス)</p>
<p>4 使用したアプリ、周辺機器 Keynote : パワーポイントファイル。授業の内容をテレビに接続し使用。 ビデオ機能 : 自分の動作を録画し見本と見比べるときに使用。振り返りの場面で使用。 カメラ機能 : 写真を撮る。</p>
<p>5 指導の経過及び児童生徒の変容 体育の運動では、ホワイトボードに文字で示す授業、教員が手本を見せる授業が主となるが、聴覚重複障害の生徒も参加しているため、言葉の理解が難しい。そこで、視覚的な教材として、Keynote を使用した。動作の方法や言葉の獲得や理解等に効果的なアプリであった。振り返りの場面では、ビデオ機能やカメラ機能を使用して生徒たちに実際の動きを確認しながら振り返りをするとともに、次時の課題を自ら見つけられるものとなった。 録画した動きを確認することでどの場面でもどのように動くが良いかということが視覚的に理解でき、運動技術の向上につながった。</p>
<p>6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） ＜視覚的な支援＞ ・時間の配分を視覚的に確認することができた。 ＜学習意欲の向上＞ ・手本となる動きについて写真、動画を使い指導し、その後、手本と自分の動きがどうちがうか考え練習に取り組みさせることで、主体的に活動する場面が増えた。 ・専門用語についても、Keynote のプレゼンテーション機能を利用して指導を行うことで、言葉の習得につなげることができた。</p>